

## 第 34 回日本国際保健医療学会学術大会へのご参加のお願い

2019 年 12 月 7-8 日に第 34 回日本国際保健医療学会学術大会を三重県津市にあります三重大学キャンパスにて開催させていただきます。文部科学省が進める国立大学の機能分化の方針の下、多くの地方国立大学は「地域に貢献する大学」を選択し、それぞれに特色のある教育を実践しています。三重大学も地域圏大学として地域との連携強化に取り組んでいますが、地域保健医療の維持発展のための一方策として、地域での保健医療の実践や人材育成を国際保健医療と融合させ、地域と国際の双方の保健医療の進展に寄与する活動を展開することが有効であると考えています。そこで、本学術大会のテーマを「地域から広げる国際保健医療のひとづくり」としました。そして、このテーマに沿って、以下のような特別講演、特別企画、シンポジウム／ワークショップを計画しています。

### 特別講演 1

・清野 宏先生（東京大学医科学研究所教授）

粘膜ワクチン、粘膜免疫療法の開発に関する研究を推進し、植物外来遺伝子発現系を応用した冷蔵保存不要・注射針不要なコメ型経口ワクチンの開発を進めている。さらに細菌ゲノム解析技術を用いて腸内環境因子（腸内細菌や食餌性成分）による腸管免疫制御機構の解明を進めている。

### 特別講演 2（市民公開講座）

・天野 浩先生（名古屋大学特別教授・ノーベル賞受賞者）

世界初の青色 LED に必要な高品質結晶創製技術の発明に成功した。2014 年にノーベル物理学賞を受賞している。低所得国の水問題を解決する深紫外線 LED を活用した水の浄化に取り組む。

・小川理子さん（パナソニック執行役員・ジャズピアニスト）

パナソニックが太陽光による充電式の電灯「ソーラーランタン」を世界の無電化地域に寄贈する活動のリーダーである。2018 年にパリで開かれた 2025 年万博の大阪誘致を訴える日本政府の最終プレゼンターとして登壇した。

### 特別企画 1

地域で活動する医療者による多様な国際貢献

### 特別企画 2

WHO - Global initiative for childhood cancer

### シンポジウム／ワークショップ

- (1) 地域医療実践の国際展開：地域からのひとづくり
- (2) 地域での在日外国人医療
- (3) Social determinants of health：地域と国際の保健医療現場での取り組み
- (4) 地域住民の気づきを促し力を引き出す看護の役割と課題：低所得国における実践経験から
- (5) 高等教育機関における国際保健医療教育：海外から見た日本の状況
- (6) グローバルヘルスセキュリティに向けて：

世界各国での感染症サーベイランス体制の整備と強化

- (7) 看護師の国境を超えての移動：看護資格の多国間相互承認とその影響など

令和の時代が始まって初めての学術大会です。三重県内には、伊勢神宮（津市より約1時間）という日本の歴史を象徴する聖地もあります。また、また、三重県は松阪牛、伊勢海老に代表される美食の国でもあります。学術大会への参加とともに三重の伝統や食を楽しんでいただけたら幸いです。  
 多くの皆様のご参加を心からお持ちしております。

第34回日本国際保健医療学会学術大会 大会長  
 堀 浩樹  
 (三重大学大学院医学系研究科)

## ● 本学への交通案内



### 近鉄電車「急行」で

名古屋より	近鉄名古屋駅	約60分	江戸橋駅	徒歩 約15分	三 重 大 学
京都・大阪より	伊勢中川駅	約15分			

### 近鉄電車「特急」で

名古屋より	近鉄名古屋駅	約50分	津駅	バス 約10分	三 重 大 学
大阪より	大阪難波駅	約90分			
京都より	京都駅	約110分			

### JR「快速みえ」で

名古屋より	JR名古屋駅	約50分	タクシー 約10分	三 重 大 学
-------	--------	------	--------------	------------------